

瀬田・林研究室 AAA22200 飯島大貴

- 複雑な文章構造を理解する能力
- 読み取った要点を自身の言葉で再構築する能力

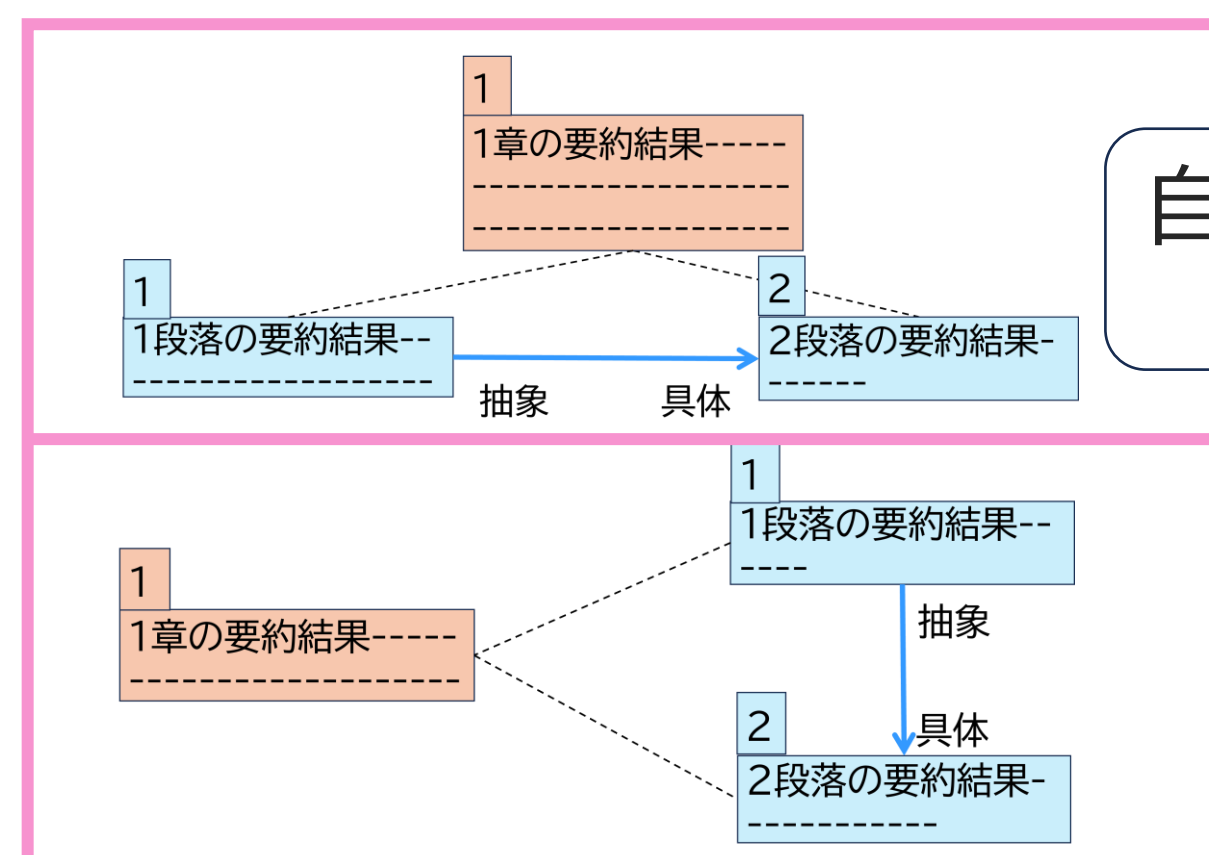
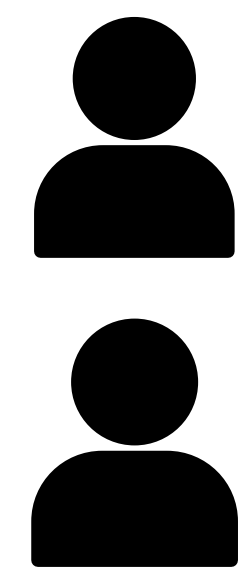


読み取った要点をまとめた要約の適切性を
多角的に判断することが困難



[1] Aota Nishida, Kazuhisa Seta, and Yuki Hayashi, "Development of Learning Support System for Critical Reading of Academic Papers", Proc. of ICCE2023, pp. 120-122, 2023.

[2] 紀智哉, "領域固有読解方略の形成を指向した批判的論文読解支援システム", 大阪府立大学卒業研究, 2023.

A cartoon illustration of a young boy with black hair, wearing a blue long-sleeved shirt. He has a thoughtful expression, with his hand resting on his chin and a small orange pencil in his mouth.

自分とは異なる要点に
着目しているな！



- 開発言語: JavaScript, PHP
- 動作環境: Webブラウザ

The diagram illustrates the relationship between a summary map and an HTML-formatted document. On the left, a pink box labeled '要約マップ' (Summary Map) contains two numbered sections. Section 3, '章や段落ごとの要約を記述' (Describe the summary for each chapter or paragraph), shows a document snippet with a blue highlight and a yellow callout box. Section 4, '要約の参考となる箇所を本文と対応付け' (Associate the reference for the summary with the text), shows a document snippet with a blue highlight and a yellow callout box. On the right, a yellow box labeled 'HTML形式の文章' (HTML-formatted text) shows a document snippet with a blue highlight and a yellow callout box. A large yellow arrow points from the summary map to the HTML-formatted text.

要約マップ

3

本研究の目的は、先行研究で得られた成果を礎とする大学初年次生を対象とした思考スキル(特に、メタ認知スキル)の育成プログラムを開発することである。全学開講科目として実施される半期の少数人数ゼミ形式での講義・演習を通じて、その意義を実践思考教育プログラム

章や段落ごとの要約を記述

4

初年次生向けの思考鍛錬プログラムでは、(1)他者との関わりを通じた思考の強化、(2)トピックの選定による学びへの動機づけ維持、(3)大学生活全体で思考鍛錬を続ける姿勢の育成が

HTML形式の文章

思考を促せるスキルを身に付け、チームや組織の議論を通じて価値ある貢献を共創し、積み上げる思考スキル教育の方法論の開発と実践研究を行っている。本研究の目的は、先行研究で得られた成果を礎とする大学初年次生を対象とした思考スキル(特に、メタ認知スキル)の育成プログラムを開発することである。全学開講科目として実施される半期の少数人数ゼミ形式での講義・演習を通じて、自分の意義を身に付けることの大切さに気づき、その意義を伝えることで、大学生活のより豊かな学びへと導く思考教育プログラムの開発を目指している。

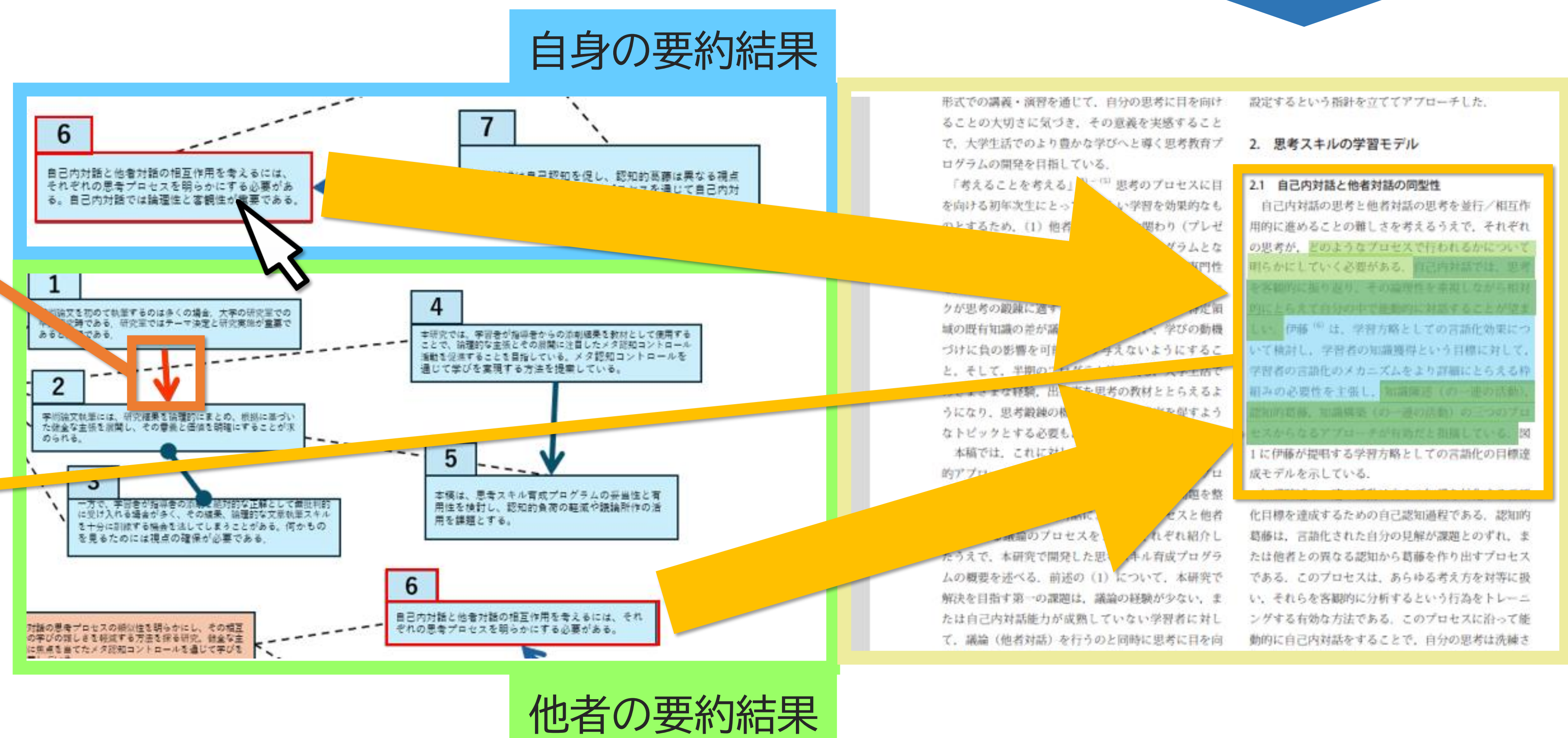
2.1 自己目的に
2.2 他者
2.3 他者
2.4 他者
2.5 他者
2.6 他者
2.7 他者
2.8 他者
2.9 他者
2.10 他者
2.11 他者
2.12 他者
2.13 他者
2.14 他者
2.15 他者
2.16 他者
2.17 他者
2.18 他者
2.19 他者
2.20 他者
2.21 他者
2.22 他者
2.23 他者
2.24 他者
2.25 他者
2.26 他者
2.27 他者
2.28 他者
2.29 他者
2.30 他者
2.31 他者
2.32 他者
2.33 他者
2.34 他者
2.35 他者
2.36 他者
2.37 他者
2.38 他者
2.39 他者
2.40 他者
2.41 他者
2.42 他者
2.43 他者
2.44 他者
2.45 他者
2.46 他者
2.47 他者
2.48 他者
2.49 他者
2.50 他者
2.51 他者
2.52 他者
2.53 他者
2.54 他者
2.55 他者
2.56 他者
2.57 他者
2.58 他者
2.59 他者
2.60 他者
2.61 他者
2.62 他者
2.63 他者
2.64 他者
2.65 他者
2.66 他者
2.67 他者
2.68 他者
2.69 他者
2.70 他者
2.71 他者
2.72 他者
2.73 他者
2.74 他者
2.75 他者
2.76 他者
2.77 他者
2.78 他者
2.79 他者
2.80 他者
2.81 他者
2.82 他者
2.83 他者
2.84 他者
2.85 他者
2.86 他者
2.87 他者
2.88 他者
2.89 他者
2.90 他者
2.91 他者
2.92 他者
2.93 他者
2.94 他者
2.95 他者
2.96 他者
2.97 他者
2.98 他者
2.99 他者
3.00 他者

要約の参考となる箇所を
本文と対応付け

- 原因—結果
- 抽象—具體
- 並列
- 對比
- 逆接
- 問題—解決案 etc.

[3] 邑本俊亮, “要約文章の多様性—要約産出方略と要約文章の良さについての検討—”, 教育心理研究, Vol.40, No.2, 213-223, 1992.

②-2 抽出した要点を多角的に吟味する機会の提供



- システムの実装
- 評価実験を通じたシステムの有効性の確認